



■ 試合No.2 2023年7月14日 9:30～ 女子1回戦 会場:親里ホッケー場

駿河台大学 (関東第2代表)	3	$\left( \begin{array}{ccc} 0 & 1Q & 0 \\ 1 & 2Q & 0 \\ 0 & 3Q & 0 \\ 2 & 4Q & 1 \end{array} \right)$	1	朝日大学 (東海第2代表)
		3    PC    3		
		10   シュート   9		

得点	駿河台大学→21分 FG 遠藤梨華、56分 PC 名古屋彩羽、59分 FG 竹本美月		
	朝日大学→58分 PC 伊藤晶		
戦評	<p>【第1Q】2023年度7月14日(金)第42回 全日本大学ホッケー王座決定戦女子一回戦、駿河台大学vs朝日大学の試合が親里ホッケー場にて、曇天の中行われた。朝日のセンターパスにより、第1Qが開始された。試合開始時点から朝日の攻勢が続くが駿河台の硬い守備に阻まれる。第1Q終了直前14分、朝日#15福田のシュートは駿河台#1齋藤の好セーブに阻まれる。</p> <p>【第2Q】開始直後、朝日が攻撃を仕掛けるが駿河台のまたしても硬い守備に阻まれる。その後一進一退の攻防の末、6分、駿河台#11竹本のアシストから#10遠藤のヒットで駿河台が待望の先制点をあげる。13分朝日がシュートを放つが駿河台DF陣に阻まれる。そのまま第2Qが終了し1-0のまま折り返す。</p> <p>【第3Q】駿河台のセンターパスにより第3Qが開始。1分、駿河台のシュートが惜しくもポストに阻まれる。6分、朝日の反則により駿河台がPCを獲得。駿河台#2阿久津のフリックはまたしてもポストに弾かれる。一進一退の攻防が続き、両者得点を許さない。第3Q終了直前15分、朝日がPCを獲得。朝日のシュートは惜しくも枠を外れる。</p> <p>【第4Q】第4Qが開始。11分、駿河台がPCを獲得。一度朝日DF陣の好セーブに阻まれるもこぼれ球を駿河台#3名古屋が押し込み追加点を挙げる。12分、今度は朝日がPCを獲得。朝日#2伊藤がフリックを決め追い上げる。14分、駿河台#11竹本が決めて朝日を突き放す。 このまま試合は終了し3-1で駿河台大学が勝利した。</p>		
テクニカルデリゲート(TD)	我妻 活美	アンパイア	野澤 達
テクニカルオフィサー(TO)	木村 正直		濱口 達也
スコアリングジャッジ	沢田 遼太郎	リザーブアンパイア	阿部 勇希
タイミングジャッジ	池田 昂太郎		